



2025年2/7(金) 午後2時開始

Zoomウェビナー

開催概要



LINEヤフー



次世代のAI:次なるブレークスルーと可能性

Program

言語: 英語・日本語 (同時通訳あり)

開会挨拶 14:00-14:15

藤井 輝夫 東京大学 総長
宮川 潤一 ソフトバンク株式会社 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO

Beyond AI 連携事業の紹介 14:15-14:25

萩谷 昌己 東京大学 Beyond AI 研究推進機構 機構長

趣旨説明 14:25-14:35

原田 達也 東京大学 先端科学技術研究センター 教授

第1部 基調講演

AI and Civilization - Future Perspectives 14:35-15:00

甘利 俊一 帝京大学先端総合研究機構特任教授／東京大学名誉教授／理化学研究所荣誉研究員

Robotic Foundation Models 15:00-15:25

Sergey Levine Associate Professor, UC Berkeley, EECS

Empathetic Reasoning, Fast and Slow: Shaping AI's Mind 15:35-16:00

Nancy F. Chen Multimodal Generative AI Group Leader &
AI for Education Programme Head, A*STAR

**The Future of Collective Intelligence and Meta Evolution
for Foundation Models** 16:00-16:25

David Ha Sakana AI 株式会社 代表取締役／Co-Founder and CEO

第2部 パネルディスカッション 16:45-17:45

モデレーター **原田 達也** 東京大学 先端科学技術研究センター 教授

パネリスト **甘利 俊一** 帝京大学先端総合研究機構特任教授／東京大学名誉教授／理化学研究所荣誉研究員
(五十音順) **落合 陽一** 筑波大学 デジタルネイチャー開発研究センター長
杉山 将 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授
武田 朗子 東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授
馬場 雪乃 東京大学 大学院総合文化研究科 准教授

閉会挨拶 17:50-17:55

萩谷 昌己 東京大学 Beyond AI 研究推進機構 機構長

司会

長井 志江 東京大学国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構 特任教授



第5回 Beyond AI 研究推進機構 国際シンポジウム



開会挨拶

藤井 輝夫 東京大学 総長

1993年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了・博士(工学)、同生産技術研究所や理化学研究所での勤務を経て、2007年東京大学生産技術研究所教授、2015年同所長。2018年東京大学大学執行役・副学長、2019年同理事・副学長(財務、社会連携・産学官協創担当)を務め、2021年より同総長に就任。専門分野は応用マイクロ流体システム、海中工学。



開会挨拶

宮川 潤一 ソフトバンク株式会社 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO

1991年 株式会社ももたらうインターネット 代表取締役社長
2000年 名古屋めたりっく通信株式会社 代表取締役社長(現ソフトバンク株式会社)
2003年 ソフトバンクBB株式会社 取締役、2007年ソフトバンクモバイル株式会社 取締役専務執行役員 兼 CTOを経て、2021年より現職。
その他、米Sprint Corporation Technical Chief Operating Officerを務めた経験を持つほか、現在、Aホールディングス(株) 取締役を兼任。



Beyond AI 連携事業の紹介／閉会挨拶

萩谷 昌己 東京大学 Beyond AI 研究推進機構 機構長

東京大学理学部情報科学科博士課程修了後、京都大学数理解析研究所を経て、1988年博士(理学)取得。2022年3月まで東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻教授。2022年6月名誉教授。プログラミング言語の理論、ソフトウェアテスト、形式的検証などソフトウェア科学・工学に加えて、DNAコンピューティングを中心に自然計算(自然現象を活用した計算)の研究を行う。2021年4月よりBeyond AI 研究推進機構機構長。



趣旨説明／モデレーター

原田 達也 東京大学 先端科学技術研究センター 教授

2001年3月に東京大学で博士(工学)を取得。2013年4月に東京大学大学院情報理工学系研究科教授、2019年9月より東京大学先端科学技術研究センター教授。理研AIPチームリーダー、国立情報学研究所医療ビッグデータ研究センター副センター長などを兼任。研究テーマはコンピュータビジョン、機械学習、知能ロボット。



基調講演／パネリスト

甘利 俊一 帝京大学先端総合研究機構特任教授／東京大学名誉教授／理化学研究所名誉研究員

1936年1月3日生まれ。東京都出身。数理工学全般に興味を持ち、これまでに位相幾何学による回路網理論、微分幾何学を用いた連続体力学(物理空間論)、情報理論、学習及びパターン認識、神経回路網理論などを研究してきた。近年は統計学、システム理論、情報理論などに共通の理論的基盤を与える「情報幾何学」を提唱しこれに基づく情報数理の体系を構築している。これらの業績により、AI研究分野における先駆者として国際的に知られている。これまでに、日本学士院賞、瑞宝中綬章受章、文化功労者、文化勲章など、多数受賞。



基調講演

Sergey Levine Associate Professor, UC Berkeley, EECS

Sergey Levine氏は、2009年にスタンフォード大学でコンピュータ科学の学士号と修士号を取得し、2014年に同大学でコンピュータ科学の博士号を取得した。2016年秋、カリフォルニア大学バークレー校の電気工学・コンピュータ科学学科の教員として着任した。彼の研究は、深層学習や強化学習アルゴリズムを中心とした意思決定と制御のための機械学習に焦点を当てている。その応用分野は、自律ロボットや自動車をはじめ、その他の意思決定領域にわたる。彼の研究には、認識と制御を統合した深層ニューラルネットワークポリシーのエンドツーエンド訓練アルゴリズム、スケーラブルな逆強化学習アルゴリズム、深層強化学習アルゴリズムなどの開発が含まれる。



基調講演

Nancy F. Chen Multimodal Generative AI Group Leader & AI for Education Programme Head, A*STAR

Nancy F. Chen氏は、A*STARにおいてAI部門を率いており、マルチモーダル生成AIグループおよび教育向けAIプログラムを統括している。複数の最優秀論文賞を受賞している彼女のAI研究は、ヘルスケア、神経科学、ソーシャルメディア、教育、法科学など多岐にわたる。Chen氏の多言語技術は、商業的なスピンオフやシンガポール教育省による採用につながった。Chen氏はNeurIPS 2025のプログラム委員長、ICLR 2023のプログラム委員長、APSIPA理事(2024-2026)、IEEE SPS特別講師(2023-2024)、ISCA理事(2021-2024)を務めており、2021年にはシンガポールの「テクノロジー分野の100人の女性」に選出された。それ以前は、MITおよびハーバードで博士課程在籍中にMITリンカーン研究所に勤務していた。



第5回 Beyond AI 研究推進機構 国際シンポジウム

基調講演



David Ha Sakana AI 株式会社 代表取締役／Co-Founder and CEO

David Ha氏はSakana AIの共同設立者兼CEOである。以前はGoogleのリサーチ・サイエンティストとして、日本のGoogle Brain Researchチームを率いていた。研究テーマは複雑系、自己組織化、機械学習の創作的応用など。グーグル入社以前は、デリバティブトレーダーとして、日本のゴールドマン・サックス証券でマネージング・ディレクター兼金利トレーディング部門責任者を務めた。トロント大学で学士号、東京大学で博士号取得。

パネリスト



落合 陽一 筑波大学 デジタルネイチャー開発研究センター長

筑波大学でメディア芸術を学び、東京大学大学院学際情報学府にて博士号取得。現在、筑波大学デジタルネイチャー開発研究センター長／図書館情報メディア系准教授・ピクシーダストテクノロジーズ(株)代表取締役会長CEO。計算機と自然の融合を目指すデジタルネイチャー(計算機自然)を提唱し、コンピュータと非コンピュータリソースが親和することで再構築される新しい自然環境の実現や社会実装に向けた技術開発などに貢献することを目指しています。

パネリスト



杉山 将 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授

2001年東京工業大学博士課程修了。博士(工学)。同大学の助手、助教授を経て、2014年より東京大学教授。2016年より理化学研究所革新知能統合研究センター長を併任。機械学習とデータマイニングの理論研究とアルゴリズムの開発に従事。2016年度日本学士院学術奨励賞、2022年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞。2022年8月に機械学習の専門書「Machine Learning from Weak Supervision」をMIT Pressより出版。

パネリスト



武田 朗子 東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授

2001年東京工業大学情報理工学研究科博士課程修了、博士(理学)取得。(株)東芝、東京工業大学、慶應大学、東京大学、統計数理研究所を経て、2018年より東京大学情報理工学系研究科教授。また、2016年より、理化学研究所革新知能統合研究センターにてチームリーダーを兼任。専門分野は数理最適化、特に最近では機械学習分野に現れる最適化問題に対する解法研究を行っている。

パネリスト



馬場 雪乃 東京大学 大学院総合文化研究科 准教授

2012年東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了。博士(情報理工学)。東京大学特任研究員、国立情報学研究所特任助教を経て、2015年京都大学大学院情報学研究科助教、2018年筑波大学システム情報系准教授、2022年より東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻准教授。ヒューマンAIインタラクション、Human-in-the-Loop機械学習、ヒューマンコンピューテーションの研究に従事。

司会



長井 志江 東京大学国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構 特任教授

2004年大阪大学、博士(工学)。情報通信研究機構(NICT)専攻研究員、ビーレフェルト大学ポスドク研究員、大阪大学特任准教授、NICT主任研究員を経て、2019年より東京大学特任教授。構成的アプローチから人間の社会的認知機能の発達原理を探る、認知発達ロボティクス研究に従事。認知発達の時間的連続性と個人の多様性が、脳の予測情報処理に基づいて統一的に説明できることを提案。35 Women in Robotics Engineering and Science(2022)、Forbes JAPAN Women In Tech 30(2024)などに選出。